

学部の学び・カリキュラムポリシー

本学は「バイオサイエンス」の教育と研究に特化した、「分子から個体レベルの生命科学、バイオテクノロジー、生命情報学を学ぶことができるバイオの総合大学」であり、1学部3学科（バイオサイエンス学科、アニマルバイオサイエンス学科、コンピュータバイオサイエンス学科）で構成されています。

- I 分子から個体、さらに環境レベルに至る階層的生命観に基づく生命へのより深い理解、科学的な見方と考え方を養い、それを基に、使命感を持って人類に役立つ力をつけることが、真の「バイオサイエンス教育」であり、教学上の中核をなす本学の最大の特徴です。
- II バイオサイエンスを学ぶ上で根底をなすカリキュラムの中心は、実学的かつ実践的な体験を重視する実験・実習科目であり、生命を学ぶことの奥深さ、興味深さを体得するために、1年次から3年次まで必修科目として配置し、卒業研究へと結実させていきます。
- III 3学科はそれぞれの特徴を活かしながら、
 - 1 生物学、数学、物理学、化学などの基礎科学と、薬学、農学、医学、工学などの応用科学を通して、学際的にバイオサイエンス・バイオテクノロジーを学ぶ。
 - 2 集積された遺伝子の配列情報や、タンパク質の構造情報などの膨大な情報から、コンピュータを駆使して、生命現象を数理的に解析する力をつける。
 - 3 社会と経済のグローバル化に対応して、国際的に活躍できる人材として必要となる語学力を身につける
 - 4 人文社会科目を学ぶことにより社会人の素養としての教養を身につける
 - 5 生命の普遍的原理を追求する学問分野に相応しく、「生命に対する倫理観を養う科目」を必修科目として配置し、「生命の尊厳」への最大の敬意と深い理解を養う。を、教学の中心に据えています。
- IV 以上のカリキュラムを通して、学生の主体的な学び、考える力、自ら課題を発見し解決する力を養います。

卒業までに身につけるべき能力 学位授与方針・ディプロマポリシー

広い教養とバイオサイエンスの専門知識・技術を兼ね備え、産業の振興および学術文化の発展に寄与する人材であること。

- 1 バイオサイエンスの深い知識を基盤とした専門技術力を持つ
- 2 高度情報化社会に適応できる情報解析力と国際化に対応できる語学力を持つ
- 3 生命への尊敬と倫理観、地球環境への洞察力を持つ
- 4 主体的に学び、自ら課題を発見し、その解決法を導き出す思考力を持つ
- 5 他者と意思を疎通し、協力して物事にあたる行動力を持つ

これらの能力の獲得と、学部の教育課程に規定する所定単位の取得をもって、学士課程学位を授与します。